

2012年第1回 IEEE 福岡支部理事会議事録

日時；平成24年1月28日（土）12:00～15:00

場所：九州先端科学技術研究所（九州先端研 ISIT）会議室

出席：笹尾，末次，窪寺，庄山，渡辺，吉岡（興代理），勝木，西野，二宮，末吉，福田，内田，山下，黒川，常田，牛島（事務局）

欠席：岡田，興，山本，諸岡

議題：

1. 前回議事録の確認

窪寺 Secretary より議事録案の説明があり案どおり了承された。

2. JC 理事会報告

笹尾 Chair より7月ならびに12月開催の理事会報告があった。3月に R10 Meeting がインドで開催されること（末次 Vice Chair 出席予定），円高のため JC の会計が厳しいことが報告された。また，Fukuoka Section 設立10年経過により設立以来の記録を残すことを歴代 Chair の協力を仰ぎ行う予定であることが述べられた。次回は3月29日に東京で開催予定。（2回の理事会の資料が席上回覧された）

3. Section Congress 報告

笹尾 Chair より8月19日にサンフランシスコで開催された Section Congress についての報告があった。R10 での会議開催数は増えているものの内容の品質について問われているという報告があった。IEEE のブランドの保護という観点から重要である。主にインド，中国で開催されている会議について品質が問われており，今後 IEEE の共催，協賛に関する基準が厳しくなる可能性についても報告された。

4. 連合大会委員会報告

窪寺 Secretary より11月21日開催の大会委員会の報告があった。大会委員会規約の変更について報告された。これは副委員長について主当番学会および開催校に所属する資格を緩和するものである。資格に関しては原則として，という文言が追記された。

5. 支部活動状況

窪寺 Secretary より福岡支部の会員構成状況について1月現在の値が報告された。総会員数は順調に増加している。また2011年には福岡支部主催，共催，協賛の研究会・講演会が8件開催されたことが報告された。5件以上がマストであるが10件以上であると rebate が増えることも報告された。電気学会九州支部のように協賛研究会でも資金支援を行うことができるかという提案があったが，従来どおり共催は資金支援を行い，協賛は資金支援を行わないことを確認した。ただし IEEE 本部のスポンサーシップの定義の解釈にも関わることなの

で今後の検討課題とする。

事務局の牛島さんより 2011 年予算決算について報告があった。2012 年に繰り越す額は 4,171,210 円であった。Xplore への掲載料や TENCON での利益により 200 万円近くの利益が生じたことによる。2012 年の予算案については 6 月の理事会で審議予定。

6. 福岡支部学生研究奨励賞について

勝木 SAC Chair より作業日程の遅れについて報告された。新しい日程として 2 月 13 日を審査結果回答期限とし、2 月 24 日までにメール審議で受賞者を決定することとした。その後福岡支部 HP 上で受賞者を告知する。この日程で 3 月上旬には表彰状等を受賞者に送付することができる。また、受賞者のメール審議の際にはこれまでの受賞者数、割合から考えて対象論文応募者のなかから上位 1/3 程度の人数を受賞者とすることが確認された。

7. 福岡支部発表奨励賞について

窪寺 Secretary より審査結果について報告された。大会における各座長が講演について採点した結果を大会担当者がまとめたものをそのまま用いた。9 名の応募者のうち 5 名を発表奨励賞受賞者とした。その際、各国際セッションでの座長（1 名）の採点結果をそのまま用いることとする。各セッションで受賞者が出るようにすること（異なるセッションでの応募者の点数の比較は行わないこと）、とした。今回は、5 名の応募があった電磁波・アンテナから 3 名の受賞、2 名の応募があった計算機科学からは 1 名の受賞、2 名の応募があった光からは 1 名の受賞となった。受賞者の副賞については学生研究奨励賞と同じものにする。これらの手配ならびに送付は勝木 SAC Chair が一括して行う。

8. その他

Senior Member upgrade について興先生の SM 申請が成功しなかったことが渡辺 MDC Chair より報告された。SM 申請での失敗は初めてのケースであり、笹尾 Chair への照会事項などから今後の対策を講ずることとした。

窪寺 Secretary より 2011 年 11 月 3 日付で Photonics Society (PHO) が認められたことが報告された。実質的には 2012 年 1 月より活動を行っている。

黒川 PEDS 2013 Chair より PEDS2013 国際会議が 2013 年 4 月に北九州で開催される旨の報告があり、貸付金等についてのお礼が述べられた。福岡支部 PELS Chapter が設立されたことからこの Chapter が主催団体となる。

末次 Vice Chair より会計繰越金の有効活用案として九州圏内で IEEE 国際会議を開催する際には福岡支部と collaborate することで seed money を提供することが提案された。条件等については要相談とするが、認められれば福岡支部の HP で通知する。通知の文言等については末次 Vice Chair が案を作成し、理事会構成員間でメール審議を行う。

笹尾 Chair より議題 2 での Section History 作成について歴代 Chair に協力を依頼することがあらためてアナウンスされた。

常田 SB Counselor より 11 月に熊本大学で workshop が開催されたことの報告があった。22 のブランチから各 2~3 名の出席があり、48 名の学生の参加があった。ニュージーランド

で開催された R10 Student Congress についても紹介された.

次回は平成 24 年 6 月 9 日 (土) 12 時から ISIT で開催予定.

(議事録作成 : 窪寺 昌一)